

在マイアミ日本総領事の活動報告

2011年9月 在マイアミ総領事

川原 英一

9月に入り、興味深い出来事がありましたので、以下ご報告致します。

(1) **アジア・ビジネス会議** 9月7日午後、マイアミ国際空港に近いドル市内ホテルで、日



米南東部会とフロリダにある中国や韓国の関係団体の主催(組織委員会事務局長: Dave Woodward)によるアジア・ビジネス会議が開催されました。韓国、中国そして日本の順に各パネル会合があり、これら各国とのビジネスを行う米国企業関係者がパネリストとして活発に発言されていました。韓国パネルでは、KOTRAという政府系貿易促進機関の方による米韓FTA(自由貿易協定)内容についての講演もありました。なお、同協

定は米議会で批准待ちの状況にしばらくあり、まだ、実施されておられません。中国パネルでは、米国との商慣行・発想の違いから失敗した企業経験を述べた発言があり、興味深いものがありました。

同ビジネス会議の真打ちとして、同日夕刻から始まった日本パネル会合では、地元のフロリダ国際大学(FIU)ビジネス・スクールのリーデン教授がモデレーターを務めて下さり、当方から、3月11日大震災直後の状況とその後の日本の復旧の現状を対比させる形で、パワーポイントを使ってビジュアルな形でお話しをしました。当地では、3.11大震災と津波の被害について大々的に報道がありましたが、その後のインフラの迅速な復旧の状況として東北高速道路、東北新幹線、仙台空港の復旧状況を写真でお示ししながら説明。また、被災者の規律ある行動や相互扶助、日米共同の救援活動、特に被災地の皆さんの心を打った米軍による「友達作戦」の規模紹介、あわせて被災地帯に立地している企業を対象に行われた政府による被害調査結果、米国で話題となったサプライ・チェーンはほぼ回復しており、日本のビジネス・観光は世界



に開かれていること、さらに、3.11の影響から米国から日本への観光客数が今年1-7月期には昨年同時期から29%減少していること、ミシュラン・ガイド三ツ星に代表される高い評価を受けた数多くの日本レストランが関東・関西を中心にあり、日本で最高の日本食を大いに楽しんで頂きたい、今年、日本に旅行されることは、

日本を支援することになりますと述べました。また、アトランタ・ジェトロ事務所の松平所長も同セミナーに駆けつけて頂き、省エネ・省資源など分野でのビジネス機会、米国進出日系企業の活躍についての具体例をお話し頂きました。

日本パネル終了後のレセプション会場では、参加者から、今までこのような日本全体の復旧・復興状況を知る機会がなかったが、今回の説明で復旧ぶりが大変によくわかった、当地の大学でも話してみてもどうか、といった声がありました。

また、日本救済チャリティー・ディナーがアレンジされており、当方から参加者の皆様へ、ご挨拶を致しました(同メッセージ内容は、当館 HP に掲載しています)。また、最近作成されたばかりの「なでしこジャパン」のキャンペーン動画を上映して、参加者の皆様に楽しんで頂きました。



(2) **マイアミ国際空港に日本の新交通システムが開通:**

9月8日午前、マイアミ空港中央駅と2キロ離れた空港レンタカー・センター駅を結ぶ無人の新



交通システム(MIA Mover)の開通式への御招待があり、喜んで参加をさせて頂きました。白色で大きな窓のある新型車両は、低騒音、環境にやさしく、安全性に優れたものですが、三菱重工業の広島・三原工場で製造されたものです。米国内空港内・空港周辺で同じ新交通システムが導入されているのは、ワシントン・ダレス空港、アトランタ空港にもあります。また、マイアミ国際空港の北ターミナルには既に別の名前(スカイ・トレイン)で導入さ

れています。

同日の式典会場には、大変な数の関係者・メディアが参集していました。マイアミ・デード郡のヒメネス郡長、空港周辺工事を実施したブラジル系ゼネコン企業社長、そして三菱重工業本社の鯨井機械・鉄鋼事業本部長、米国住友商事社長、MIA空港長等が御挨拶をされました。当方挨拶の中では、日本の新交通シ



ステムは、アジアの主要ハブ空港であるシンガポール、香港、韓国の仁川空港でも既によく利用されており、今後、米国内のより多くの空港でこのシステムが導入されることを大いに期待します旨申し上げます。(了)